

株主メモ

決 算 期 3月31日
定 時 株 主 総 会 6月
配当金受領株主確定日 利益配当金 3月31日
中間配当を実施するときは、9月30日

基 準 日 3月31日
上記の他、必要があるときは、
あらかじめ公告して定めます。

上 場 証 券 取 引 所 名古屋証券取引所市場第2部
1 単 元 の 株 式 数 1,000株
公 告 掲 載 新 聞 日本経済新聞
名 義 書 換 代 理 人 大阪市中央区北浜4丁目5番33号

住友信託銀行株式会社

〈郵便物送付先〉

〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10号

住友信託銀行株式会社 証券代行部

〈電話照会先〉

(住所変更等用紙のご請求) ☎ 0120-175-417

(その他のご照会) ☎ 0120-176-417

〈インターネット ホームページ URL〉

[http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/
service/daiko/index.html](http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html)

名義書換事務取次所 住友信託銀行株式会社 全国各支店

第80期

中間事業報告書

平成13年4月1日～平成13年9月30日



立山アルミニウム工業株式会社

〒933-8602 富山県高岡市早川1550 TEL(0766)20-3121(総務部)

立山アルミホームページアドレス <http://www.tateyama.co.jp/>

完全フラットサッシ「ウォーキング」新発売

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています。

立山アルミ



取締役社長 要明 英雄

CONTENTS

営業の概況	1
会社の概況	3
売上高の推移	3
売上高の内訳	3
従業員数・平均年齢の推移	4
役員	4
株式の状況	5
財務諸表(連結)	6
財務諸表(単体)	8

Walking

ウォーキングは、
立山アルミが新しく発売した
日本初のノンレール 完全フラットサッシです。

営業の概況

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第80期上半期(平成13年4月1日から平成13年9月30日まで)の営業の概況と中間決算についてご報告いたします。

当上半期におけるわが国経済は、米国経済の減速による輸出の鈍化やIT(情報技術)関連業種の急激な落ち込み、不良債権処理の進展、製造業の国内空洞化加速などが重なり、景気後退が急速に進みました。

当業界におきましても、デフレ経済的状况下で市場価格の下落が進み、厳しい価格競争が続きました。

この様な状況のなかで当社は、お客様の要望に応える商品提供を目指す一方、環境に配慮した商品の充実を図りました。しかしながら、売上高の減少に加え利益率の低下を余儀なくされ、当上半期の売上高は53,907百万円(前年同期比48%減)、経常損失は1,599百万円、中間損失1,645百万円となりました。

以上のような結果、誠に遺憾ではございますが、中間配当につきましては見送らざるをえない状況となりました。

株主の皆様のご期待にお応えすることができず、誠に申し訳なく深くお詫び申し上げます。

なにとぞ事情をご賢察のうえ、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

部門別概況

住宅用アルミ建材部門

前年並みの住宅着工戸数のなかで、マンション需要は好調であったものの、木造住宅建築は前年実績割れが続き、競争の激化から販売価格は低下の一途を辿りました。そのなかで当社は、業界初となる非塩ビ・表層木粉配合樹脂を使った次世代断熱型インテリアサッシ「アベックス70」を発売いたしました。またインテリア建材ではこれに対応した新しい色調の商品を追加する一方、健康に配慮した低ホルムアルデヒド商品への切り替えを行ないました。

エクステリアの分野におきましては、ハウスメーカー等への販売体制の強化と、マンション開発業者への提案営業に努めました。

しかしながら、売上高は29,798百万円(前年同期比2.3%減)となりました。

ビル用アルミ建材部門

ゼネコン間競争の影響を大きく受けながらも、安値受注を避け不採算物件での収益回復と全体コストの見直しに取り組み、利益確保に注力いたしました。また新製品として、当社独自構造のノンレール完全フラットサッシ「ウォーキング」をマンションや医療福祉施設向けに発売いたしました。

手摺の分野におきましては、首都圏でのマンションブームによる活況を除いては全般的に需要の減退が続き過当競争が激化するなかで、一部商品を新シリーズに切り替えるなどにより販売拡大に努めました。

店舗建材の分野におきましては、新法（大規模小売店舗立地法）施行の影響を受けない中小型店を展開するチェーン本部への営業活動に注力いたしました。また、システム天井材の商品化を図ってクリーンルーム物件の受注獲得に努めるなど、店舗物件だけに偏らない新しい分野への進出を目指しました。

その結果、売上高は12,572百万円（前年同期比5.9%増）となりました。

商業施設部門

新法施行の影響により大型店の新規出店が激減するなかで、店舗改装物件の受注獲得を目指して提案営業を展開するとともに、下落する市場価格に対して一層のコスト削減に注力いたしました。

サインの分野におきましては、屋外広告全体の市場規模が年々縮小傾向を辿るなかで、損害保険業界再編に伴う需要増大の機会を生かし、一定の成果に結びつけることができました。

しかしながら、売上高は9,961百万円（前年同期比21.9%減）となりました。

形材部門他

生産から販売までのお客様別管理システムを構築し営業的繋がりの強化を図りました。

その結果、売上高は1,575百万円（前年同期比6.1%増）となりました。

今後の取り組み

今後の見通しにつきましては、株価の低迷、企業業績の悪化、失業率の上昇等、明るい材料は見当らず、国内景気の底入れには未だかなりの時間を要するものと思われま

す。当業界におきましても、再編含みのし烈な生き残り競争が今後一段と激しくなるものと予想されます。

当社といたしましては、収益力向上のため、より一層のコスト低減と、地域に密着した営業活動の強化を推し進め、"存在感のある"企業を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成13年12月

取締役社長

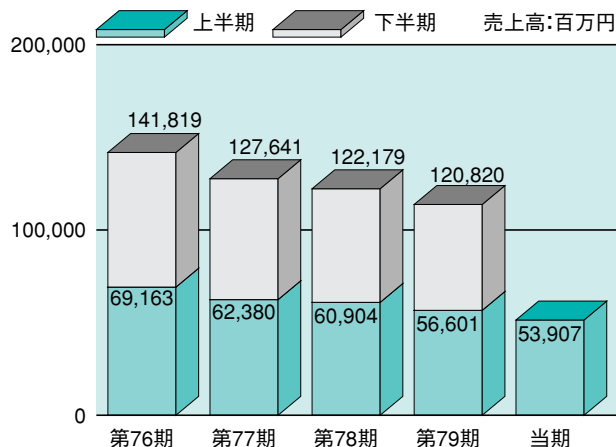
要明英雄

会社の概況

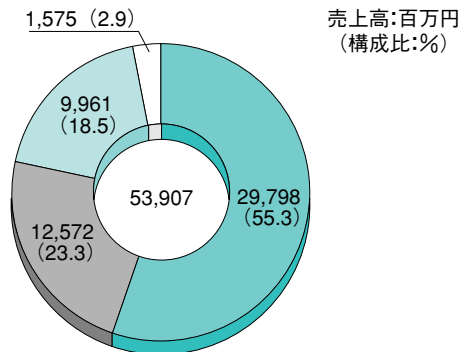
(平成13年9月30日現在)

(1) 社名	立山アルミニウム工業株式会社
(2) 英文名	TATEYAMA ALUMINIUM INDUSTRY CO.,LTD.
(3) 設立	昭和23年10月
(4) 資本金	6,568,771,060円
(5) 本社	富山県高岡市早川550番地
(6) 事業所数	87ヶ所
(7) 従業員数	2,544名
(8) 決算期	3月末日
(9) 会計監査人	朝日監査法人

売上高の推移



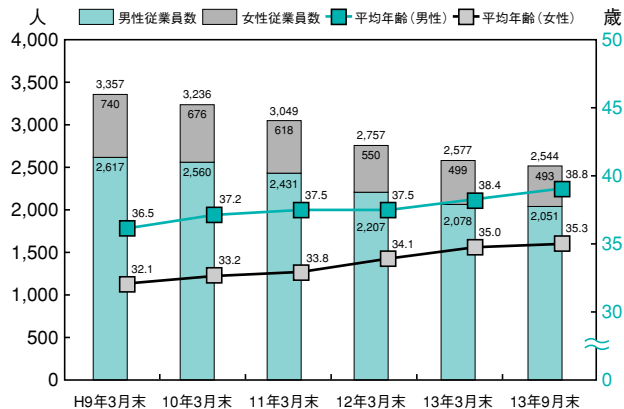
売上高の内訳



(H13.4.1~H13.9.30)

■住宅用アルミ建材 ■ビル用アルミ建材 ■商業施設 □形材他

従業員数・平均年齢の推移



役員

(平成13年11月20日現在)

代表取締役会長	竹 平 栄 太 郎
代表取締役社長	要 明 英 雄
専務取締役	沖 英 郎
専務取締役	川 崎 清 司
常務取締役	網 谷 英 三
常務取締役	梅 田 安 彦
常務取締役	熊 崎 哲 男
常務取締役	竹 脇 文 夫
取締役相談役	竹 平 栄 次
取締役	二 元 幸 男
取締役	保 多 尚 宏
取締役	林 巖 実
取締役	藤 本 隆 三
取締役	賀 東 秀 三
取締役	金 澤 孝 之
常勤監査役	村 田 孝 至
常勤監査役	殿 村 孝 之
常勤監査役	山 崎 保

株式の状況

(平成13年9月30日現在)

当社が発行する株式の総数	96,000,000株
発行済株式の総数	49,058,934株
株 主 数	3,042名 (前期末比58名増)
株主1人当たり平均持株数	16,127株

所有株数別状況

区 分	株主数 (イ)	株主総数に対する (イ)の割合	株式数 (ロ)	発行済株式総数に 対する(ロ)の割合
	人	%	株	%
1,000株未満	578	19.00	162,209	0.33
1,000株以上	1,610	52.93	3,016,669	6.15
5,000株以上	346	11.37	2,381,351	4.85
10,000株以上	396	13.02	7,337,200	14.96
50,000株以上	45	1.48	2,983,051	6.08
100,000株以上	50	1.64	10,044,840	20.48
500,000株以上	6	0.20	3,707,874	7.56
1,000,000株以上	11	0.36	19,425,740	39.60

大株主(上位10名)

株 主 名	持株数	持株比率
	株	%
有限会社竹平エンタープライズ	3,520,000	7.18
三協アルミニウム工業株式会社	2,732,088	5.57
立山アルミ持株会	2,105,500	4.29
立山アルミ取引先持株会	1,672,300	3.41
株式会社北陸銀行	1,549,230	3.16
林 武 彦	1,500,903	3.06
立山アルミ社員持株会	1,486,595	3.03
株式会社新生銀行	1,348,000	2.75
上 杉 秀 弥	1,308,124	2.67
伊藤忠商事株式会社	1,114,000	2.27

財務諸表(連結)

●連結貸借対照表

(資産の部)

(単位：百万円)

期 別 科 目	当中間連結会計期間末 (平成13年9月30日現在)	前連結会計期間末 (平成13年3月31日現在)	前中間連結会計期間末 (平成12年9月30日現在)
	金額	金額	金額
(資産の部)			
流動資産	69,868	68,959	77,207
現金及び預金	10,164	8,535	10,381
受取手形及び売掛金	33,779	36,777	42,066
たな卸資産	22,964	19,867	22,360
その他の流動資産	4,698	4,871	3,589
繰延税金資産	80	45	13
貸倒引当金	△ 1,819	△ 1,137	△ 1,204
固定資産	58,409	55,998	56,444
有形固定資産	50,300	47,582	48,621
建物及び構築物	19,701	19,547	20,287
機械装置及び運搬具	4,999	4,998	5,187
土地	24,345	21,880	21,855
その他の有形固定資産	1,253	1,156	1,291
無形固定資産	402	445	470
投資その他の資産	10,432	10,337	10,919
貸倒引当金	△ 2,725	△ 2,366	△ 3,566
資産合計	128,277	124,958	133,651

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(負債、少数株主持分及び資本の部)

(単位：百万円)

期 別 科 目	当中間連結会計期間末 (平成13年9月30日現在)	前連結会計期間末 (平成13年3月31日現在)	前中間連結会計期間末 (平成12年9月30日現在)
	金額	金額	金額
(負債の部)			
流動負債	81,363	79,694	88,267
支払手形及び買掛金	35,898	37,668	36,398
短期借入金	23,515	22,384	32,377
その他の流動負債	21,948	19,641	19,491
固定負債	31,656	29,003	29,554
長期借入金	24,864	27,051	27,968
その他の固定負債	6,792	1,951	1,585
負債合計	113,019	108,698	117,821
少数株主持分	1,805	1,756	1,726
(資本の部)			
資本金	6,568	6,568	6,568
資本準備金	5,703	5,703	5,703
連結剰余金	1,296	2,255	1,855
その他有価証券評価差額金	△ 92	—	—
自己株式	△ 24	△ 24	△ 24
資本合計	13,452	14,503	14,103
負債、少数株主持分及び資本合計	128,277	124,958	133,651

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

●連結損益計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	当中間連結会計期間 (平成13年4月1日から 平成13年9月30日まで)	前連結会計期間 (平成12年4月1日から 平成13年3月31日まで)	前中間連結会計期間 (平成12年4月1日から 平成12年9月30日まで)
	金額	金額	金額
(経常損益の部)			
営業損益			
売上高	64,458	135,785	64,621
売上原価	47,666	101,049	46,761
販売費及び一般管理費	16,918	32,185	16,703
営業利益	△ 126	2,550	1,157
営業外損益			
営業外収益	452	590	252
営業外費用	944	1,860	836
経常利益	△ 618	1,280	573
(特別損益の部)			
特別利益	249	58	19
特別損失	260	391	219
税金等調整前中間(当期)純利益	△ 628	947	373
法人税、住民税及び事業税	282	310	189
法人税等調整額	△ 27	△ 43	△ 68
少数株主利益	(減算) 75	(減算) 46	(減算) 14
中間(当期)純利益	△ 958	633	237

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

●連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	当中間連結会計期間 (平成13年4月1日から 平成13年9月30日まで)	前連結会計期間 (平成12年4月1日から 平成13年3月31日まで)	前中間連結会計期間 (平成12年4月1日から 平成12年9月30日まで)
	金額	金額	金額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,287	12,669	1,969
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	4,362	△ 745	665
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,431	△ 16,733	△ 5,776
IV. 現金及び預金同等物の増加額	218	△ 4,809	△ 3,143
V. 現金及び預金同等物期首残高	8,209	13,019	13,019
VI. 新規連結子会社による現金 及び預金同等物期首残高	1,216	—	10
VII. 現金及び預金同等物期末残高	9,644	8,209	9,887

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務諸表(単体)

●貸借対照表(単体)

(資産の部)

(単位:百万円)

期 別 科 目	当中間期末	前 期 末	前中間期末
	(平成13年9月30日現在)	(平成13年3月31日現在)	(平成12年9月30日現在)
	金 額	金 額	金 額
(資産の部)			
流動資産	60,662	62,218	67,964
現金及び預金	6,047	5,876	6,871
受取手形	17,351	19,507	23,816
売掛金	14,337	16,093	17,333
たな卸資産	20,211	17,511	19,987
その他の流動資産	4,912	5,008	3,332
貸倒引当金	△ 2,197	△ 1,779	△ 3,377
固定資産	41,604	42,078	43,267
有形固定資産	34,156	34,956	35,784
建物	13,299	13,762	14,283
機械及び装置	3,265	3,481	3,575
土地	16,113	16,129	16,094
その他の有形固定資産	1,477	1,582	1,831
無形固定資産	291	332	324
投資その他の資産	9,634	8,784	10,321
貸倒引当金	△ 2,477	△ 1,995	△ 3,164
資産合計	102,267	104,296	111,232

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(負債及び資本の部)

(単位:百万円)

期 別 科 目	当中間期末	前 期 末	前中間期末
	(平成13年9月30日現在)	(平成13年3月31日現在)	(平成12年9月30日現在)
	金 額	金 額	金 額
(負債の部)			
流動負債	68,147	66,943	73,681
支払手形	25,457	27,688	25,496
買掛金	9,105	8,498	9,469
短期借入金	15,100	13,400	22,600
1年以内に返済予定の長期借入金	11,733	11,296	—
その他の流動負債	6,751	6,060	16,115
固定負債	22,751	24,273	25,346
長期借入金	20,996	23,028	24,397
その他の固定負債	1,754	1,244	948
負債合計	90,898	91,217	99,027
(資本の部)			
資本金	6,568	6,568	6,568
資本準備金	5,703	5,703	5,703
利益準備金	667	667	667
剰余金又は欠損金(△)	△ 1,505	140	△ 734
特別償却準備金	13	18	18
固定資産圧縮積立金	111	112	112
別途積立金	10	785	785
中間(当期)未処分利益	△ 1,640	△ 775	△ 1,650
その他有価証券評価差額金	△ 64	—	—
資本合計	11,368	13,079	12,204
負債及び資本合計	102,267	104,296	111,232

(注) (注記)に於ける金額表示は当中間期末のものです。

1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 有形固定資産の減価償却累計額 43,483百万円
3. 担保提供資産 25,002百万円
4. 保証債務額 5,280百万円

●損益計算書(単体)

(単位:百万円)

期 別 科 目	当中間期	前 期	前中間期
	(平成13年4月1日から 平成13年9月30日まで)	(平成12年4月1日から 平成13年3月31日まで)	(平成12年4月1日から 平成12年9月30日まで)
	金 額	金 額	金 額
(経常損益の部)			
営業損益			
売上高	53,907	120,820	56,601
売上原価	40,995	92,537	42,104
販売費及び一般管理費	13,910	27,692	15,585
営業利益	△ 998	590	△ 1,088
営業外損益			
営業外収益	153	337	164
営業外費用	754	1,512	656
経常利益	△ 1,599	△ 584	△ 1,580
(特別損益の部)			
特別利益	91	31	9
特別損失	97	328	228
税引前中間(当期)利益	△ 1,604	△ 882	△ 1,800
法人税、住民税及び事業税	41	88	45
中間(当期)利益	△ 1,645	△ 970	△ 1,845
前期繰越利益	5	194	194
中間(当期)未処分利益	△ 1,640	△ 775	△ 1,650

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

●当社株・売買高の推移(週足)

